

SHOW HEY シネマルーム

★★★

Data

監督：パティ・ジェンキンス
出演：ガル・ガドット／クリス・パイン／ロビン・ライト／ダニール・ヒューストン／デヴィッド・シュールイス／コニー・ニールセン／エレナ・アナヤ／ユエン・ブレムナー

ワンダーウーマン

2017年・アメリカ映画
配給／ワーナー・ブラザース映画・141分

2017（平成29）年9月3日鑑賞 TOHOシネマズ西宮OS

■ショートコメント■

◆今年の夏は世界中がこの「最強美女」に夢中に。全米今夏No.1ヒット作は日本でも超人気となり、各劇場は大入りらしい。新聞紙評では、「米女流監督パティ・ジェンキンスの本作は、女性監督作品の映画の中で歴代最高の約700億円という驚異的な興行収入を打ち立てた」らしい。しかして、アメコミ史上最強の美女戦士とは？

◆チラシによれば、それは次の通りだ。

ワンダーウーマン——。

それは、バットマンが「地球上で最強」と認めた、アメコミ界ぶっぴぎりの美女戦士。プリンセスにして、地球最高レベルの強さと美しさを兼ね備えたスーパーヒロイン。

しかし、外の世界を一切知らず、男性を見たことすらない。

そんな彼女は、初めての世界で何を見て、何のために戦うのか？

2017年夏、新次元のスーパーヒロインが世界を席卷する！

また、別のチラシによれば、次のようにも紹介されている。



1941年、DCコミックスに初登場した、ひとりの女性ヒーロー、ワンダーウーマン。アメコミ史上初となる女性キャラクターであり、その後75年以上も不動の人気を誇る彼女のストーリーが超・待望の実写化。

昨年、公開の「バットマン vs スーパーマン ジャスティスの誕生」では2大ヒーローを圧倒するパワーを披露したワンダーウーマン。

今作では最強&華麗なアクションに加えて、女性だけの力で育った彼女が外の世界を一切知らず、男性をみたことすらない、天然の魅力も発露し、その圧倒的美貌、強さとのギャップに観る者を魅了する！

たしかにチラシに見るそのカッコいい姿と「美しく、ぶっ飛ばす。」という刺激的なキャッチコピーを見れば、こりゃ誰でも必見とってしまうはずだ。

◆そのストーリーは、チラシによれば次の通りだ。



導入部では、ギリシャ神話のような神々の世界が語られながら、ダイアナ(ガル・ガドット)が、女王である母親アンティオペ(ロビン・ライト)とその妹である將軍ヒッポリタ(コニー・ニールセン)の指導のもとで、美しくかつ強く成長していく姿が描かれる。そして、そんな島にアメリカ人兵士のスティーブ・トレバー(クリス・パイン)が不時着したところから、ダイアナとスティーブとの恋模様と、世界平和のために死力を尽くすという崇高なストーリーが展開していくことに……。

◆ダイアナがスティーブに連れられて向かった人間の世界は、第1次世界大戦時の「塹壕戦」を彷彿させるが、この際その描き方はどうでもいい。だって、暗く辛い塹壕戦だって、そこにダイアナが飛び込んでいけば一気に局面は打開!しかして、ダイアナとスティーブは少しずつ「悪の権化」のようなナチスドイツの指揮官ルーデンドルフ(ダニー・ヒューズトン)とその配下で毒ガス作りに邁進する女性科学者マル博士(エレナ・アナヤ)を追い込んでいくが、さて本作のあっと驚く結末に登場する真の敵とは……?ナチスドイツと戦うイギリスではパトリック卿(デヴィッド・シューリス)の役割が大きそうだが、さて、その真の姿は……?

本作は2時間21分の長尺だが、全く飽きさせないのは立派。たまにはこんな映画で頭を空っぽにして楽しむのもいいだろう。

2017(平成29)年9月5日記